

平成 24 年度第 1 回福岡市立学校環境衛生懇話会 議事要旨

[日時・場所] 平成 24 年 12 月 26 日(水)19:00～20:15 市役所本庁舎 1505 会議室

[出席委員] 須貝委員(福岡大学教授), 元山委員(医師会理事), 東委員(薬剤師会理事), 日高委員(PTA 協議会会長), 白石委員(養護教諭研究会役員), 桑田委員(教育支援部長), 橋爪委員(指導部長), (事務局)大塚, 平田, 手嶋

[次 第 等]

- 1 教育委員会挨拶 大西理事挨拶
- 2 委員紹介 各委員・事務局 自己紹介
- 3 議事等要旨

(1) 座長の選任 須貝委員を座長に選出。

(2) 資料説明 事務局より資料内容を説明

(3) 議事要旨(●は事務局)

- 財政的に厳しいのであれば, 暑い時期は午前中だけの授業としたり, 夏休みを延ばすなどで対応し, 不足した授業時数は他の時期の土曜日に補えばよいのでは。
- 土曜日への授業の振替は難しい。保護者, 教育現場, 双方の理解も必要となる。
- 建物の壁面に水を流して, 温度が上がるのを防ぐという方法を見たことがあるが。
- そのような試行は行っていない。事例を調べ, 次回報告したい。
- 水を使う場合は, カビの発生に注意する必要がある。
- 扇風機は埃が溜りやすい。掃除も含め, 設置後のメンテナンスを十分に行う必要がある。
- 暑さは, 教室によって全く違う。温度は高くなくても, 立地条件によって, 体感的に暑い教室がある。教室の状況はひとつひとつ異なることを踏まえて暑さの検証をすべき。
- 暑さ対策は, 西日をどう防ぐかが非常に大事。
- コンクリートは昼間蓄積された熱が夜もぬけないため, 翌日の教室の暑さにつながっていることが考えられる。朝は何時に窓を開けているのか。また夜の換気や空気孔を開けるなどはできないのか。
- 学校は夜間完全に施錠しており, 窓は開けていない。教室の窓は 16 時過ぎに閉め, 翌朝 7 時半から 8 時くらいに開けているのでは。空気孔については, 他都市の例でもあったナイトページなども含め検討してみる余地はあると思う。
- 熱中症は, 西日があたる, 風通しが悪い, 最上階, この三点を満たす教室に留意すべきと思う。温度調査は, 風向きや日照等を考慮していないのか。
- 風向きや日照等は考慮していない。温度だけである。
- 温度だけでは暑さの測定としては十分ではない。サーモカメラで測定するのが最も良いが。(サーモカメラで見たら) 頭から上はかなり赤くなっていると思う。
- 今の校舎は耐震工事やサッシの落下防止措置で, 窓を十分に開けられない場合がある。
- 少人数学級は進んでいるが, 5・6 年生は 40 人学級で, 体格のよい学年のほうが教室内の密度が高い。5・6 年生の教室はかなりの暑さになるのではないか。
- エアコン設置はよいと思うが, 定期的にかビ等の清掃をしないと, かえって児童生徒に悪影響を及ぼすことになる。設置後のメンテナンスも十分に考えていく必要がある。
- いただいた意見をもとに, 今後暑さ対策を考えていきたいが, 一つの方策で暑さが解消されるのは難しいと感じた。いろいろな方策を組み合わせ, 財政負担が少なくすむように検討していきたい。
- 今回話題となった方策については, 事例等を調べ, 次回にはご報告したい。次回は, こどもの暑さの耐性についてもご意見をいただきたいと考えている。